

市民（学生）にできる防災活動

京都で地震が起きた時、自分の大切な人を守るために

東日本大震災では、多くの死傷者や行方不明者が出ており、いまだ多くの人が避難生活を強いられています。

今回は東日本で地震が起きましたが、京都でもいつ地震があるかわかりません。もし京都で地震が起きたら、あなたは自分の大切な人を守れるでしょうか？

いざ地震が京都で起きたときに備えて、いまから知っておくべきこと、準備しておくべきことを学びます。

ご存知ですか？

- ・ 京都にも大きな地震が来た歴史がある。
- ・ 「こんにちは」が自分の命を救う。
- ・ いざという時、〇〇が役に立つ。
- ・ 日本語が不得意な外国人に正確な情報を伝えるためには。
- ・ バスや電車が止まった。どうやって家に帰るか。
- ・ 大学にいる時に地震が。まず何をすべきか。
- ・ 地域の防災力をどうやって高めるか。
- ・ 大切な人を守るためには、まず〇〇を守る。

日時 2011年 **5月18日(水)**

第1部だけ、第2部だけの参加もOKです

第1部 **16:20～17:50** 見て聞いて学ぶ(講演と実践訓練)

第2部 **18:00～19:30** ゲームで考える(防災カードゲーム「クロスロード」)

場所 清心館 532教室

定員 30名程度

太田興さん

防災寺子屋・京都 代表、朱八地域自主防災会専門協力員

阪神大震災の時、西宮で被災した。

それがきっかけで、地域の重要性を見直し、市民による防災活動をはじめる。

「関心の薄い人に関心を持って聞いてもらうためには、笑いも交えておもしろくしないといけない」と考え、コントも交えてのフリップ防災講座を実施。

楽しくてわかりやすい防災講座は子どもから高齢者まで人気を博している。

ゲストスピーカー



[後援] 立命館大学歴史都市防災研究センター

[主催、お問い合わせ先] 立命館大学サービ斯拉ーニングセンター衣笠 (学而館1階)

TEL 075-465-1952 E-mail ritsvc@st.ritsume.ac.jp